

～ 吹奏楽を愛する君達へ ～

西阪神地区大会のプログラムには皆さんへのメッセージを含めて、毎年、挨拶文が掲載されてきました。しかし今年はありません。

平成から令和という大きな時代の移り変わりの中、新しい発想、新しいチャレンジに向けて、新しい気持ちで着実な一歩を感じながら吹奏楽の素晴らしさを皆さんと共に見つけていきたいと思えます』

… このフレーズは昨年、2019年度の挨拶文の一部です。

5月11日の朝日新聞の社会面に全国大会常連校の部員の想いが掲載されていました。先輩が続けてきた夢を叶えることを目指してきた。中止は仕方ないけど「残念です」残念ですが受けとめるしかない」3年生にとっては高校（中学）生活の集大成。できるならやりたかった」悔しく、悲しくたまらない気持ちですが、今後も頑張っ私達の演奏を創り上げていきたい」…。

全国大会であっても西阪神地区大会であっても、音楽 吹奏楽 コンクール 部活動にかけてきた気持ちに違いないでしょう。

自分達の夢に向かって思い切りやりたかった 応援してくれているまわりの人達の期待に応えたかった。先生、先輩、後輩、同輩、そしていつも応援してくれている家族と共に喜びを分かち合いたかった 最高の演奏や音楽を創り上げてみんなに自慢したかった」…。

今、君達は「にか「残念」ということだけが正直な気持ちなのかも知れませんね。特に卒業していく3年生には言葉にできない寂しさもあるでしょう。

コンクールが中止になったことは事実ですが、それが全てではないことも事実です。

「止手くならない、もっといい音を出したい、もっと音楽に感動したい』
こんな気持ちを忘れずに、君達にあふれる「創意工夫」によって、大好きな「友達」と一緒に、新たな「夢」に向かって歩いてくれることを願っています。

2020年5月15日

西阪神吹奏楽連盟